



—— 認証取得おめでとうございます。審査について、そして取得決定後についてお聞かせください。

石川 JCIは医療施設の国際的認証機関です。JCIのミッションは「患者安全と医療の質向上を継続的に促進する組織の醸成」で、これは当院のホスピタルミッションの一つである「医療の質と安全とサービスでトップレベルの病院」と全く同じです。JCIを目指すことはホスピタルミッションを実践することでした。審

査項目は一四領域一二〇〇項目に及び、非常に厳しい基準を設けています。特に、「国際患者安全目標」として位置付けられている六項目（患者の正確な識別、感染リスクの軽減、転倒・転落リスクの軽減など）は、全職員が徹底して基準をクリアしなければなりません。さらに、三年毎の更新があり、更新時には前回よりも厳しい審査を受けることになるため、常に改善が求められています。今回の認証取得に当たっては、約二年間の

名古屋第二赤十字病院 石川 清前院長インタビュー

東海三県初のJCI認証を取得し 地域の医療レベル向上を目指す 名古屋第二赤十字病院

名古屋第二赤十字病院（名古屋市昭和区）がこの三月「JCI認証」を取得した。同認証を取得しているのは、同病院を含めて国内ではわずか二五施設、東海三県では初めて。非常に厳しい審査項目をクリアするためにどんな努力を院内で行ってきたのか、中心となって取り組んだ石川清前院長に話を聞いた。

石川氏は三月末日に退任。後任は佐藤公治氏。（三月二十三取材）。

準備をしてきました。本審査に先立って半年前に模擬審査を受審しました。模擬審査、本審査とも外国人審査員四名と通訳八名で行われました。初日の幹部のリーダーシップインタビューに始まり、五日間にわたって院内をくまなく厳しい審査を受けました。その中でも当院の先駆的な取り組みである災害対応や生命倫理の領域では非常に高い評価を受けました。認証取得決定後には、職員に向けて取り組んできた二年間を総括した報

告会を行い、認証取得によって当院が世界基準をクリアしたワンランク上の病院として認められたことで、職員の大きな誇りに繋がったことを喜び合いました。

—— 認証取得のために最も力を入られたこと、病院にプラスになったことはどんなことでしょうか？

石川 認証取得のためには、審査項目についてポリシーを明確にし、それを全職員が現場で実践しなければなりません。この周知徹